

提案依頼書

1. 件名：
「HEROs AWARD 2025」表彰式典の企画運営及び広報等に係る業務委託

2. 目的：
我が国において、社会貢献活動は依然として十分に活性化しているとは言い難い。近年、著名人による取り組みは増加傾向にあるものの、「偽善と思われたくない」といった理由から、あえて表に出さないケースも少なくないのが実情である。

一方で、スポーツやアスリートが持つ影響力は、社会課題の可視化や共感の喚起、行動の促進といった面で大きな可能性を秘めている。HEROsは、この力を最大限に活かしながら、アスリートが「社会を動かす存在」として期待される新たな姿をつくり出すことを目指している。

スポーツの楽しさやアスリート自身の経験、影響力をもとに、NPOや地域、企業、ファンと連携し、社会貢献活動を活性化させていくことがHEROsの役割である。

HEROs AWARDは、アスリート、チーム・リーグ、企業等による社会貢献活動を表彰する式典である。社会的に注目されにくい取り組みを、格式ある場で可視化することで、メディアでの認知を高め、企業・一般市民の関心や支援の拡大を促すとともに、社会的インパクトの創出を後押しする。

また、HEROs AWARDでは、社会貢献に取り組むアスリートや、将来の担い手として期待されるアスリートを150名を招待し、競技を超えて集まったアスリートたちが、HEROsをプラットフォームとして連携し、具体的なアクションを生み出すきっかけとなることを目指している。

2025年度のHEROsは、「We Change the World」を新たなコンセプトに掲げ、アスリート自らが主体的に社会課題に向き合い、行動することを軸とした取り組みを展開している。

被災地地域におけるジュニアアスリートのボランティア参加促進をはじめ、スポーツの持つレバレッジを活かした若年層の巻き込み、さらにはミュージシャン、NPO、主要スポーツリーグとの協働によるプロジェクトの推進など、さまざまな分野のプレイヤーと連携しながら、アスリートの影響力を最大限に活用した「社会を変えるアクション」に取り組んでいる。これらの取り組みを通じて、社会貢献に関わるプレイヤーの裾野を広げ、社会的インパクトの創出を目指すキックオフの一年となっている。

2026年度以降は、2025年度に築いた基盤を活かし、企業やファン層も巻き込んだ共創型の支援モデルを構築し、スポーツおよびアスリートが社会変革を牽引する“新たなリーダー”としての社会からの期待が高まることを目指す。

2025年度の集大成であり、2026年度の幕開けともなる「HEROs AWARD 2025」では、これらの方針と成果を広く発信し、さらに多くのアスリートを仲間に巻き込み、次のアクションへとつなげていく。

3. KPIと課題

- a. AWARD新規トップアスリート参加者数：60人（24年度実績：60人）
- b. 食事中、テーブル懇親中の離席：0%
- c. メディア露出数：1,000媒体以上（24年度実績：646件）
- d. HEROs AWARD開催後1年間の社会貢献活動参加率：90%
- e. HEROs AWARD出席アスリートによるSNS投稿：実施数70人以上

<KPI達成における課題>

課題1. レジェンドおよびスター選手の巻き込み

本プロジェクトの拡大には、社会的に影響のある各競技のレジェンドおよびスター選手の参画が必須である。HEROsでは、プロジェクトに共感しともに行動するアスリートをHEROsアスリートと位置づけ、活動を行っている。新たなレジェンドアスリート、現役スター選手がHEROs AWARDに参加し、さらにHEROsアスリートとなってHEROsへ参画することを促す施策を期待する。

課題2. 食事中の離席を防ぎ、ゲスト満足度を向上させる

HEROs AWARD参加者の参加目的は、大きく二つである。一つ目は、社会貢献活動のロールモデルの学びであり、二つ目はネットワーキングである。後者の目的達成のために、式典のプログラムやテーブル懇親中に離席して名刺交換が始まるなど、ゲストの行動をコントロールできていない。二つの目的を満たす企画案と時間配分が考慮された進行プログラムを実施する必要がある。

課題3. アスリートの発信力を用いた情報発信

2023年度以降は受賞者発表の時期をAWARD開催日の二か月前にしたことにより、多くのメディアへの企画アプローチができ、一定の露出を獲得できた。一方で、アスリート自身のもつ発信力を生かした企画実施など情報発信については改善の余地がある。アスリートのSNS発信を促す施策やHEROsAWARDでしか実現できないトップアスリートによるコラボレーションによるPRコンテンツ提案などを求める。

課題4. HEROs AWARD式典を中心とした年間コミュニケーションプランの策定

年間を通してゲストアスリートのAWARDへの期待感の醸成やメディア露出獲得のためのPR施策等、AWARD当日を起点とした前後の年間コミュニケーションプランの強化を求める。

課題5. HEROsがもたらす社会的インパクトの可視化

2024年度に、災害支援チーム・プラごみ削減チームを立ち上げて以降、アスリートによる活動が活発化している。一方で、それらの活動が社会的にどのような成果（インパクト）を創出したのかについては、まだ可視化できていない。スポーツの価値を向上させ、アスリートへの期待値を高めるためにも、インパクトを伝える施策を実施する必要がある。

4. AWARD実施概要

a. 開催日：2025年12月15 日(月)

16時：受付開始／17時30分：開場／20時30分：終了（予定）。

b. 場 所：グランドハイアット東京 ボールルーム

グランドハイアット東京は当財団で仮予約中。

受託者が決定した後、予約を引き継ぐ。

<仮予約済会場>

- ・ ボールルーム イースト : 14日／26:00～15日／26:00
- ・ ボールルームウエスト : 14日／26:00～15日／26:00
- ・ タラゴン : 15日／7:00～22:00
- ・ サロン : 15日／7:00～22:00
- ・ タイム : 15日／7:00～22:00
- ・ ラベンダーAB : 15日／7:00～22:00

c. 開催形態：オフラインイベント

ただし、オンラインによる配信等は妨げない。

d. 参加者：

HEROsアンバサダー、受賞アスリート、招待アスリート、リーグ、チーム関係者、アスリートの社会貢献の支援に関心を持つ企業関係者（招待客のみ）最大250名（HEROs関係者50名、招待アスリート100名、スポーツ団体50名、その他企業やNPO関係者など50名）

e. AWARD構成要素

- ・ オープニング（映像）
- ・ HEROs AWARD 2025授賞式
 - i. アスリート部門3名（男・女）
 - ii. スポーツ団体部門（チーム・リーグ・協会など）
 - iii. 企業部門（スポーツ・アスリートと連携した社会貢献）
- ・ 食事提供（形式は提案による）
- ・ 海外ゲストアスリートによる特別講演
- ・ 来場意欲の向上および、来場者の社会貢献意欲を高める為のコンテンツ
- ・ HEROs活動および成果報告（映像を用いること）

f. HEROs AWARD2025 会場造作

HEROs AWARDの目的達成を最大化するための企画、展示等

g. アスリートミーティング（HEROs AWARD2次会）

HEROs AWARD参加者による親睦会

h. PR施策

HEROsやAWARD受賞者についてのメディア露出を最大化するためのPR施策

5. 業務内容

(1) 受託業者が行う業務

上述したHEROs AWARDの目的とKPI達成に向けた現状の課題を解消する企画および運営を行うこと。

a. 全体の進行管理（定期的な打合せの開催・出席）

- ・ 運営に関する定期的な打合せを開催し、全体の進捗確認および課題の共有、対応方針に関する協議を行う。
- ・ 受託業者は、毎回の打合せ後に決定事項と次回打合せまでの対応事項および期限を記載した打合せメモを当財団に速やかに提出する。
- ・ 全体のスケジュール管理を行う人員を配置し、定期的に進捗状況の報告を行う。

b. 招待客リストの作成・招待状の作成・発信、出欠管理

- ・ 受託業者は、当財団とともに招待客リストを作成し、参加者の出欠管理を行う。
- ・ 招待状を電子ファイルで作成する。招待状にはオンライン上で出欠の返答ができる仕様にし、返答内容は当財団および受託業者が確認できるシステムを用意する。招待客リストの作成・招待状の作成・発信方法については、課題踏まえた提案を求める。
- ・ 招待客には、開催日の二か月以上前より招待する目的（HEROs AWARD参加者で繋がり、協力して社会課題への意識を変えていく取り組みに参加すること）を伝えるためのテキストとグラフィックを作成し、週2回程度の頻度で情報発信を実施すること。また、コミュニティツールなどを用いて、AWARD当日に招待客同士の交流が活性化することを目的としたコミュニケーション設計を行うこと。
- ・ 招待客に対しては、当財団が会場内で撮影した映像・画像をHEROsおよび当財団の広報活動に利用することについて、事前に同意いただく。

c. 受賞式典プログラム企画・登壇依頼、謝金支払

- ・ 来場意欲の向上および、来場者の社会貢献意欲を高める為のコンテンツを含め、受賞式典プログラムを企画すること。なお本年はより効果を最大化するためAWARD当日の14時～16時に別プログラム（アスリート・スポーツ関係者による円卓会議など）を別途企画予定である。円卓会議は本業務の委託内容には含めないが、円卓会議運営業者と連携して、AWARD当日の効果を最大化すること。
- ・ HEROs AWARD 2025司会者等については候補を提案すること。
- ・ 司会者候補と選考委員会が選定した受賞者に対して登壇依頼と事前の打ち合わせを行うこと。登壇依頼にあたっては撮影した映像利用に関し、追加の利用料なく2年以上使えることを前提に交渉すること。
- ・ HEROs AWARD 2025受賞者、司会者等のヘアメイクを手配すること。
- ・ 式典での食事のスタイルは提案によるものとする。但し、アレルギー、宗教、ベジタリアン・ビーガン等に可能な限り対応できるメニューを用意すること。見積書作成にあたっては250名分で費用を見積もること。

- ・ 本アワードの目的に鑑み、式典はSDGsに配慮するものとする。
- ・ アスリートミーティング（２次会）（21：00～23：00開催予定）は、アワード近隣の会場を準備し、参加者同士の連携が生み出される企画を考え、運営すること。見積書作成にあたっては、人数は120名とし運営費・会場費・飲食費を含め、合計240万円として積算する。
- ・ 受託業者は、以下の謝金を参加者に支払うものとする。受賞アスリート、招待アスリートへの謝金（衣装代）4万円（税抜・源泉徴収前）。見積書作成にあたっては150名分、合計600万円として積算する。
- ・ 上記のうち、遠方からの登壇者に対しては必要に応じて宿泊先を手配する。遠方からの登壇者には、旅費交通費として距離等に応じてあらかじめ定めた金額を支給する。ただし、非アンバサダーおよび非受賞者への支給額は10万円（税抜・源泉徴収前）を上限とする。
- ・ 遠方旅費交通費支給対象人数は40名を想定し、見積書は計200万円を計上すること。
- ・ 謝礼金・旅費等の支払にあたっては、受託業者の責任で支払先を確認し、必要に応じてマイナンバーを習得し、支払うものとする。

d. 美術造作

- ・ 受託業者は、フォーマルパーティーを基本として、本イベントの目的を達成するための会場の全体レイアウト・デザイン（表彰式 会場内およびホワイエスペースのレイアウト・デザイン含む）を作成し、それに基づいた美術造作を行うこと。
- ・ 受託業者は、デザイン・レイアウトの考案にあたっては、会場の使用ルールを事前に十分確認し、当財団との協議のうえで最大3回程度修正することを了解すること。
- ・ ホワイエスペースには、以下を設置することとし、必要な美術造作をすること。
 - i. HEROsプロジェクトの2025年度含むこれまでの活動を紹介するパネル
 - ii. メディア撮影スペース
 - iii. フォトスポット

e. 進行台本・運営マニュアル作成

- ・ 受託業者は、上記企画に基づいて進行台本を作成する。
- ・ 受託業者は、会場の感染拡大防止ルールおよび政府・自治体の指導に基づいた運営マニュアルを作成する。また、招待者の着席順を当財団との協議によって決定し、座席表を作成すること。
- ・ 事前に招待者から、社会貢献活動実施の有無やその内容、関心の高い社会課題等の情報を確認し、同じ領域に関心を持つ招待者同士が繋がりやすい状態をつくること。また、参加する招待者について事前に伝えること。

f. 動画制作

- ・ 受託業者は、受賞者の受賞者紹介動画を制作する（1本あたり最大3分程度、動画6本予定）。本動画は授賞式当日に上映するため、アワード一週間前までに完成させるスケジュールで製作すること。本アワード終了後、当財団Yo

uTubeチャンネルにアップロードできるよう指定のファイル形式にて提出すること。

- ・ HEROsが2025年度までに実施した活動と成果を伝える動画を作成すること。
- ・ AWARDの雰囲気を醸成するオープニング映像を作成すること。

g. 当日運営（受付・案内業務）

- ・ 当日における当財団の役割は、本アワード運営の諸事項に係る意思決定を主とし、その他の業務は受託業者にて全て実施する前提で体制を構築すること。
- ・ 受託業者は、登壇者、招待客（財団関係者含む）、メディアのために受付ならびにクロークを設置し、受付業務を行う。
- ・ 障害がある方も支障なく参加できるよう、当財団担当者と十分に協議したうえで合理的配慮を行う。
- ・ 受託業者は、登壇者、招待客の安全に考慮し、警備人員を適切に配置すること。

h. 当日運営（進行・設営業務）

- ・ 受託業者は、当日の運営に必要な機材・備品・消耗品等を準備し、会場と予め相談した日時に搬入・設営・撤去の一切を行う。なお会場費（会場・控室使用料・搬入搬出深夜設営費用・音響、照明基本料金・立会い関係費を含む）は900万で見積に含めること。
- ・ 受託業者は、イベント中の照明・音響含めた進行业務の一切を行う。
- ・ 障害のあるアスリートが参加する場合は、情報保障（手話通訳士の手配など）をすること。

i. PR 業務

- ・ アワード開催前後も含めた全体PR戦略（ソーシャルメディア上での企画含む）の構築及び実行を行う。受賞者はAWARD開催前に発表することが望ましい。
- ・ 受託業者は、各自のネットワークに基づきメディアのイベント誘致及び受賞者活動への取材誘致を積極的行う。
- ・ PR計画に基づいたメディアリストの事前の提出と協議（媒体を選んだ理由。どのくらいのリーチで、HEROsにとってどのような効果を見込めるか。）
- ・ アスリートによる情報発信を目的としたソーシャルメディア(X、Instagram等)上での企画立案及び実施。
- ・ 本委託期間中のメディア対応（本アワード当日のアスリートへの取材対応を含む）を行う。
- ・ 受託業者は、本アワード終了後、2026年1月末時点でのメディア露出レポート（HEROs AWARD 2025 について言及された記事（インターネットメディア、新聞、雑誌、テレビ等の媒体の一覧、論調の傾向、次年度の広報課題をまとめたもの）を作成する。
- ・ その他、本アワードへの注目度を高め次年度のエントリー数拡大に繋げるため、メディア露出を高めるPR 施策を当財団担当者と協議のうえ実施する。既存の取組、コンテンツを有効活用し、効率的に実施できるものが望ましい。

- ・ 受託業者は、HEROs公式WEBサイト・公式SNSに掲載するAWARDのレポート記事を2本以上作成して納品すること。

(参考)

- WEB : <https://sportsmanship-heros.jp/>
- X : https://twitter.com/HEROs_sportsman
- Instagram : https://www.instagram.com/heros_nippon_foundation/

j. その他

- ・ 本アワードのパーティー形式はフォーマルとする。そのため招待状にて近隣の衣装レンタルサービスを案内すること。ただし、レンタル費用は招待客の負担（謝金に含まれる）とする。
- ・ 受託業者は、当日配布するパンフレット（HEROs 概要、プログラム概要、主な登壇者が記載された4ページ程度のもの）を制作する。制作部数は300部とする。
- ・ 受託業者は、受賞者のためにトロフィーを当財団指定の業者に発注する。見積作成にあたっては、トロフィー制作費用は全体で300万円（50万円×6部門）（税抜）とすること。

6. 成果物

- 招待状
- 当日パンフレット（紙媒体 300 部）
- 運営マニュアル・進行台本等の資料一式（電子データの提出）
- メディア露出レポート（電子データの提出、参加メディアのリスト含む）
- オープニング映像
- 受賞者紹介動画
- 活動紹介映像
- 当日のイベントの様子を撮影した動画および写真データ

7. 提案内容

提案書の作成にあたっては、以下の項目を必ず盛り込むこと。なお、本評価には担当部署以外の者も関与するため、専門用語等はわかりやすく記載すること。

- コンセプト案
本AWARDのコンセプトを明示すること。
- 当日のタイムスケジュール案
実現可能性を鑑みた当日のタイムスケジュール案を具体的に提示すること。
- コンテンツ・プログラム案
前述した3. KPIと課題のうち主に課題1～課題3を解消するためのHEROsアスリートへの登録や社会貢献活動を促す仕組み、社会貢献機運を高める企画を提案すること。
- 食事の形式
前述した3. KPIと課題のうち主に課題2を解消するための工夫を盛り込んだうえで飲食提供スタイルを提案すること。
- 招待アスリート候補者リスト

声掛けの経路を明記した上で、前述した3. KPIと課題のうち課題1を解消するための施策と候補者のリストを提案書に明示すること。

- f. 広報戦略（事前、事後も含める）
前述した3. KPIと課題のうち課題3～5を踏まえ、広報戦略及びPR施策の具体的な提案を求める。
- g. 類似業務の経験／能力
本業務に類似する業務の受注実績（主に直近2年間のもの）、感染症対策を講じて開催した本業務に類似する業務の受注実績を提示すること。
- h. 業務執行体制／バックアップ体制
本業務を円滑に遂行するための業務執行体制（再委託を行う場合は再委託先含む）・欠員・トラブル等におけるバックアップ体制を提示すること。なお、体制の中には、必ず制作進行管理の責任者と担当者を明記すること。
- i. 関係法令
本業務に関連する法令を明示の上、以下について提示すること。当該法令に関する研修実施の有無・頻度. を提示すること。マニュアル・方針・規程等の存否を記載すること。
- j. 業務責任者及び担当者の経験／能力
責任者及び各担当者の類似業務実績（主に直近2年間のもの）、経歴、資格等を提示すること。
- k. 業務方法
本業務を円滑に遂行するための具体的な業務手法を提示すること。
- l. 作業計画
本業務を円滑に遂行するための実現可能なスケジュールを提示すること。
- m. 見積書
適切な価格となるようコストダウンにつながる工夫を検討の上で提示すること

- 8. 予算上限
70,000千円（税込）

- 9. 備考
HEROs AWARD受賞者の選定業務は本業務委託内容には含めない。なお、AWARD受賞者決定までのスケジュールは以下を予定している。
 - 7月中下旬：一次審査（各部門10候補者まで絞り込み）
 - 8月下旬：二次審査（各部門3～5候補者まで絞り込み）
 - 9月上旬：最終審査会（受賞者の決定）